

令和3年度男鹿市商工会 戦略・施策・事業評価結果【令和2年度分】の概要

令和3年9月30日

男鹿市商工会

令和2年度の「商工会創生プラン」について、数値目標の達成度など進捗状況の点検を行い、その結果を次の取組に活かすため、戦略・施策・事業の評価を行いました。

1 評価の実施

当会のアクションプログラムを構成する「5つの戦略」「10の施策」「24の事業」について、「商工会創生プランに係る戦略・施策・事業評価の実施要領※」に基づき、事業・施策・戦略の順に評価を実施しました。

また、評価結果は、総代会資料や商工会報、ホームページに公表し、商工会事業に「会員の声を反映させる」ことを目的としています。

※数値目標の達成度、事業の必要性・有効性・効率性を判定基準として定めたもの

2 評価結果の概要

評価結果は次の通りで、「概ね順調に推移している」との判定となりました。

戦略評価：5 戦略	A（順調）：0	B（概ね順調）：5	C（一部未達成）：0
施策評価：10 施策	A（順調）：1	B（概ね順調）：9	C（一部未達成）：0
事業評価：24 事業	A（順調）：8	B（概ね順調）：16	C（改善が必要）：0

令和2年度は新型コロナウイルスの影響もあり、セミナー、各種会議、イベントなど、人が集まる事業については計画通りに進めることが出来ませんでした。

一方で、コロナ禍で打撃を受けた事業者を対象に「特別相談窓口」を開設し、事業が継続できるよう各種給付金申請やコロナ融資等の対応を重点的に行いました。

また、市役所・金融機関・ハローワークと定期的な情報交換会を行い、地域事業者の業況把握や業績悪化の業種等への支援策等を協議し、プレミアム商品券発行事業では7億円超の地域内消費を喚起したほか、コロナ禍に対応した感染予防対策や新たな事業展開を行う事業者に対して、計画策定や資金供給などの伴走型支援に努めました。

令和3年度は各種事業の改善や見直しを図りながら、A評価へのランクアップに努めるとともに、コロナ融資等の返済などに苦慮する事業者への資金繰り対応や、アフターコロナ時代を見据えた新たなビジネスモデルに挑戦する事業者が増えるよう、支援体制を一層強化してまいります。

■評価結果の活用

評価結果は、今後の商工会運営における検証材料として活用するほか、次年度計画へ反映し、目標達成に向けて経営発達支援計画との両輪により推進してまいります。